

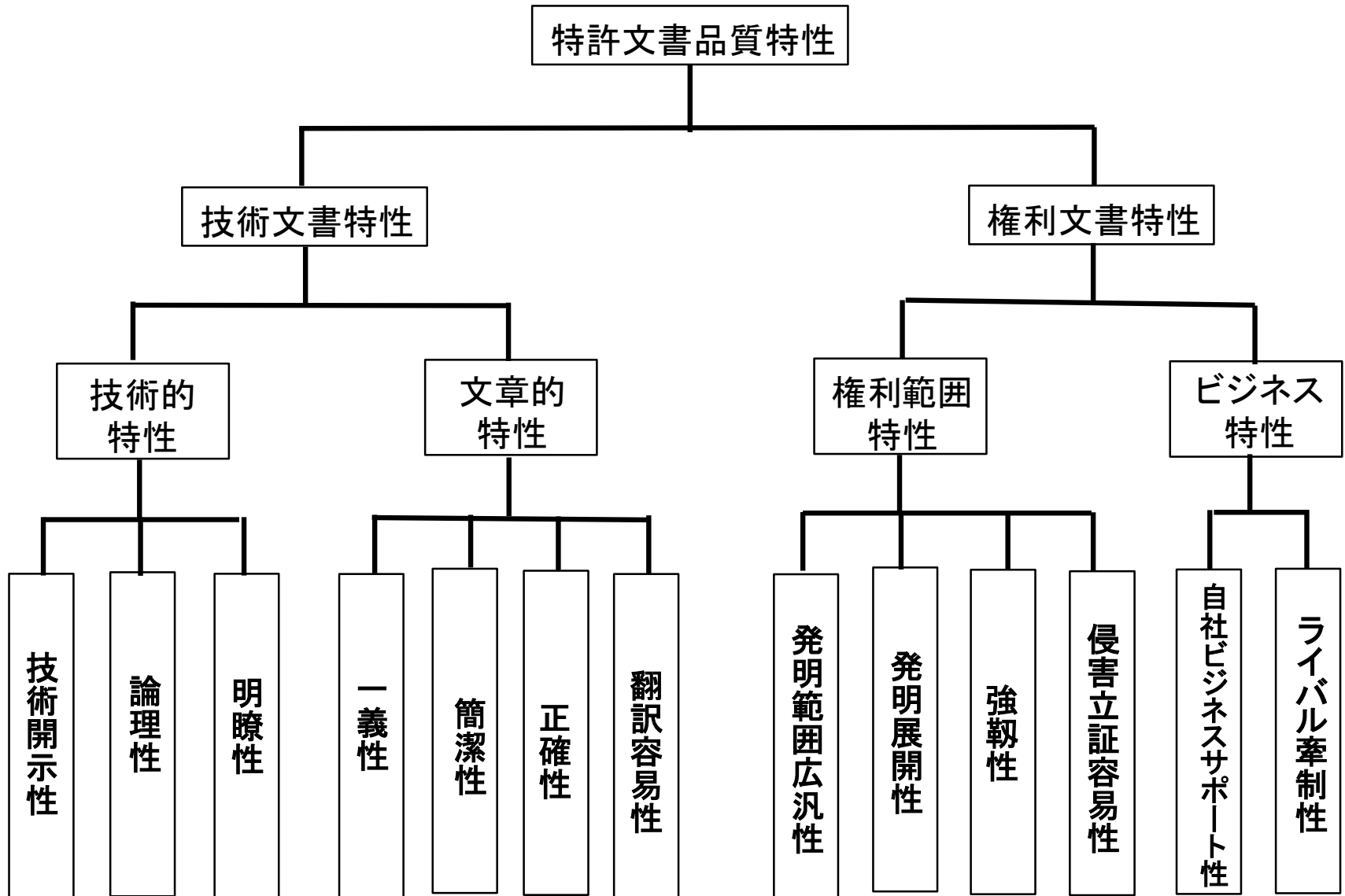
# 特許文書分科会

2018/3/5

## (1) 取り組み内容

特許文書の品質とは？

## (2) 特許文書品質特性



## (3) 特許文書品質特性の定義

品質特性			品質特性の説明
大分類	中分類	小分類	
技術文書特性	技術的特性	技術開示性	発明が十分に説明されている度合い 特許法が要求しているサポート要件、実施可能性を満足している度合い
		論理性	論理的である度合い
		明瞭性	発明の説明が明瞭である度合い
	文章的特性	一義性	多義的に解釈できない度合い
		簡潔性	簡潔な文の度合い
		正確性	誤記・技術的誤りが出現しない度合い
		翻訳容易性	翻訳しやすい度合い
権利文書特性	権利範囲特性	発明範囲広汎性	発明の本質が抽出されており、無用な限定が無い度合い。権利範囲の広さの度合い
		発明展開性	発明が十分に展開されている度合い。
		強靱性	拒絶、無効になりにくい度合い
		侵害立証容易性	侵害の立証が容易である度合い
	ビジネス特性	自社ビジネスサポート性	自社製品をカバーしている度合い
		ライバル牽制性	ライバルを牽制できている度合い

# (4) 特許文書品質(検討事項)

## 各特性の ①定性的な評価方法 ②定量的に評価する場合のパラメータ(数, 割合)

小分類	品質特性の説明	評価方法(定性的)	パラメータ(定量的)	
			数量	割合
技術開示性	発明が十分に説明されている度合い。	<ul style="list-style-type: none"> <li>特許請求の範囲において、全ての実施形態が含まれるように記載されているか？</li> <li>請求項に記載の発明特定事項(発明の本質)について、明細書中に十分な記載があるか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施の形態の数、実施例の数</li> <li>図面数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施例でサポートされている請求項の割合</li> <li>請求項の数値範囲をカバーするデータの割合</li> </ul>
論理性	論理的である度合い	<ul style="list-style-type: none"> <li>背景・従来技術・課題・解決手段・効果のストーリーの筋が通っているか？</li> <li>明細書の文章全体の構造が明確に把握できるか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クレームツリーの枝にぶら下がっている請求項に番号飛びが存在する場合の飛びの数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発明特定事項と効果の組が記載されている割合</li> <li>請求項の発明特定事項の例示の記載率</li> </ul>
明瞭性	発明の説明が明瞭である度合い	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般名称、専門用語が正しい意味で使用されているか？</li> <li>造語や略語は、定義が記載されているか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>造語や略語の定義の数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>請求項の造語の定義率</li> <li>請求項の発明特定事項の例示の記載率</li> </ul>
一義性	多義的に解釈できない度合い	<ul style="list-style-type: none"> <li>定義の無い多義的な用語・文が使用されていないか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多義的な用語の数</li> <li>多義的な文の数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単文率または複文率</li> <li>能動態または受動態の使用率</li> </ul>
簡潔性	簡潔な文の度合い	<ul style="list-style-type: none"> <li>用語の統一性が図れているか？</li> <li>冗長用語、冗長表現(例: 制御を実行する)が使用されているか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>長文、複文の数</li> <li>重複記載の箇所数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>冗長用語、冗長修飾詞の使用率</li> <li>能動態の使用率</li> </ul>
正確性	誤記・技術的誤りが出現しない度合い	<ul style="list-style-type: none"> <li>用語が統一されているか？</li> <li>明細書中の符号と図面の統一が統一されているか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>誤記、誤字、脱字の数</li> <li>技術的誤りの数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>用語の統一率</li> <li>誤記、誤字、脱字の発生率</li> </ul>
翻訳容易性	翻訳しやすい度合い	<ul style="list-style-type: none"> <li>主語があるか？</li> <li>長文や複文が多いか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主語の無い文、長文、複文の数</li> <li>助詞の誤使用の数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>長い複合詞の使用率</li> <li>日本語特有の不明確になり易い用語の使用率</li> </ul>
発明範囲広汎性	権利範囲の広さの度合い	<ul style="list-style-type: none"> <li>上位概念の用語が用いられているか？</li> <li>明細書中に、発明特定事項の定義が限定的に記載されていないか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>独立項の発明特定事項数、文字数、発明特定事項に対する修飾数、格成分数</li> <li>1つの請求項についての課題や効果の数</li> </ul>	
発明展開性	発明が十分に展開されている度合い。	<ul style="list-style-type: none"> <li>独立項が多いか？(独立項が多いと、訂正要件を満たす可能性が高くなる。)</li> <li>クレームに包含される例が豊富であるか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クレーム数</li> <li>クレームツリーのネストレベル(深さ)</li> </ul>	
強靱性	拒絶、無効になりにくい度合い	<ul style="list-style-type: none"> <li>クレーム文言が明瞭でありクレーム文言と実施例との間に齟齬がないか？</li> <li>クレームに包含される例が豊富であるか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>背景技術の先行文献数</li> <li>実施例数</li> </ul>	
侵害立証容易性	侵害の立証が容易である度合い	<ul style="list-style-type: none"> <li>発明特定事項を実施する主体が複数になっていないか？</li> <li>クレームに包含される例が豊富であるか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>格成分数</li> </ul>	
自社ビジネスサポート性	自社製品をカバーしている度合い	<ul style="list-style-type: none"> <li>自社製品・自社サービスに対応した特許請求の範囲、図面、フローチャートが存在するか？</li> <li>収益を守るための請求項が記載されているか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施報償に関する情報、製品の売上情報等の自社固有の管理情報</li> </ul>	
ライバル牽制性	ライバルを牽制できている度合い	<ul style="list-style-type: none"> <li>他社製品・他社サービスと同一または近似した特許請求の範囲、図面が存在するか？</li> <li>他社製品・他社サービスと同一または近似した用語が使用されているか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>契約情報(ライセンス契約を締結している等)</li> </ul>	

## (5) 今後

- (1) 評価方法(定性的)、パラメータ(定量的)の検討
- (2) 評価目的・評価シチュエーション別の重要度の検討
- (3) **特許文書品質の普及に向けた方策の検討**